



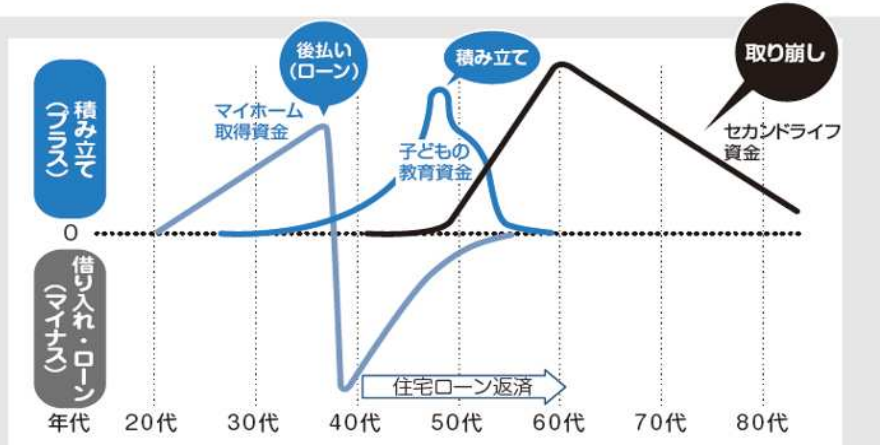
人生の三大資金

人生には3大資金（教育・住宅・セカンドライフ）と呼ばれるものがあります。これらの資金は同時に準備できるものではなく、また一つ一つをとっていても金額が高額なだけに、必要なときにすぐ用意できるものではありません。5月・6月・7月と3回にわたって、それぞれの資金の性格を考え、準備の方法を考えて行きます。

セカンドライフ(老後)資金⇒暮らし方を考える

■人生の3大資金

いつ頃、どれくらい必要になる？



(コープ共済連 「わが家のライフプランノート 資金計画編より」)

充実したセカンドライフのポイントとして

①生活資金 ②生きがい ③健康 が、考えられます。

セカンドライフは、定年退職後の生活…というイメージでしょうか。

上の表からもわかるように、セカンドライフ資金は今まで形成した資金の取り崩し期になります。いずれにしても、一番気になるのは ①生活資金 です。

まずは、セカンドライフの生活資金—支出や収入を見積もりましょう！

支出

子どもと同居の方が夫婦2人世帯となった場合、生活費は子どもと同居時の7割くらいが目安です。

収入

セカンドライフを定年退職後の生活と考えると、その収入の大部分は「公的年金」と今までの蓄え（預貯金等）になります。

「公的年金」が「いつから、いくら受け取れるのか」確認しましょう。

ねんきん定期便や、年金事務所（予約制）で確認することができます。

LPAは組合員の「暮らしの安心・安全」を守るお手伝いをしています。

【お問い合わせ】 エフコープ 組合員活動部内 LPA活動事務局

TEL : 092-947-9003 FAX : 092-947-9192